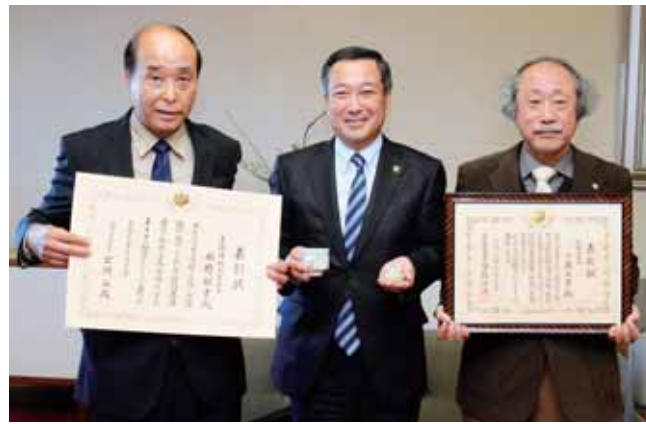


● Photo sketch ●



12/21 後世につなぎたい職人の技

伝統的工芸品産業の振興などに関し顕著な功績を挙げた方を対象に「伝統的工芸品産業功労者等表彰」が行われ、水野輝幸さん(泉町)が経済産業大臣表彰を、小栗正男さん(妻木町)が中部経済産業局長表彰を受賞されました。

水野さんは、「受賞は皆さんのおかげであり今後の励みにもなる。これからも一生懸命頑張っていきたい」と、小栗さんは「美濃焼をもっと全国に広めたい、若い人にも自分の身に付けた技術を残したいと思う」と受賞の喜びを話してくれました。



1/13 日本の伝統文化を体験

妻木小学校で「抹茶教室」が行われ、5年生児童50人が参加しました。児童らは、昨年実施された作陶体験で自分の抹茶茶わんを作成しており、今回はその茶わんを利用してお茶をたてました。

参加した児童のほとんどは、今回が初めての体験。「初めてだったけどとてもいい経験になった」、「正座で足が痛かったけどおいしかった」などと感想を述べていました。



1/14 和歌を琴の音色にのせて

下石公民館で毎年恒例の「新春コンサート」が開かれ、市内外から約100人が訪れました。「寿会」のメンバーが、万葉集をテーマにした曲目を中心に、約1時間半にわたり演奏を披露。ぴったりと息の合った琴の音色で、観客を古典の世界へといざないました。

会の最後に行われたお楽しみ福引会では、観客らに日用品などがプレゼントされました。



1/18 調理を通じてコミュニケーション

東濃フロンティア高校で、同校3年生8人と、東濃特別支援学校高等部2年生の10人が、調理実習を通じた交流会を行いました。この取り組みは両校の交流のため、毎年行われているものです。

調理したのは、この地方の郷土料理である「けんちゃん汁」と「からすみ」。生徒らは、野菜の切り方などを教え合いながら、上手に調理をしていました。調理後は、完成した料理を一緒に味わいました。



12/21 中学生サミット 土岐市を考える

文化プラザで「夢と絆 中学生サミット」が開かれ、市内6つの中学校から代表者12人が参加しました。各校での取り組みや自慢できることのほか、未来の土岐市に必要なことや自分たちがやってみたいことなどをテーマに、意見を出し合いました。

生徒らは「土岐市は交通の便が悪いので、交通網を充実させてほしい」、「活気のある町にするためには自分たちが主役となり、地域の行事に積極的に参加したい」など若者の視点で真剣に話し合っていました。



1/8 夢に向かって 新成人の門出

成人式典が文化プラザで開催され、新成人484人が出席しました。式典の進行は新成人の代表12人によるもので、中学校生活を振り返るスライドショーの上映や、各学校の代表者が登壇し、市や母校にちなんだ問題から正解数を競い合う新成人クイズなどが行われました。恩師からは「志を持って夢に向かって頑張ってください」、「成人を迎えられたことに感謝し、より強くたくましく頑張ってください」など、教え子を思った温かい激励の言葉が贈られました。



Voice



成人式実行委員長 小田貴也さん

今日を一つの区切りとして、これからそれぞれの夢と決意を胸に社会に貢献できる人材になれるよう努力していきます。これまで支えてくださった親や周りの方への感謝の気持ちも忘れず、社会人として自立し責任を果たしつつ、自分の夢を描いていきたいと思っています。

